

こんにちは 議会です!!



ぴかぴかの一年生

- | | |
|------------------|----------------------|
| • 新年度の予算 …………… 2 | • 常任委員会 …………… 8 |
| • 予算委員会 …………… 4 | • 町政を問う(一般質問)………… 12 |
| • 3月定例議会 …………… 6 | • まち・ひと・しごと!! …… 18 |

使いみちは？ 中央公民館の建設工事など 一般会計 49億3500万円

認定こども園への改修に着工 財源は？ 前年比5億5500万円増(12.7%増)

29年度予算を可決

防災・行政事務・返済・積立て

- 消防費 2億5720万円
- 行政事務費 5億4171万円
- 地方債の返済金 4億6600万円
- 積立金 961万円
- 予備費 400万円



小型ポンプ積載車
まちの安全を

教育・子育て・生涯学習

- 小学校費 1億2596万円
- 中学校費 8238万円
- 幼稚園費 6170万円
- 生涯学習 8億377万円
(中央公民館建設費用など)
- 総務費 9455万円



中央公民館
生涯学習の拠点に

まちづくり

- 道路橋梁費 3億4517万円
- 河川費 567万円
- 都市計画費 1億8542万円
- ごみ対策費 1億724万円
- 農林水産業費 2億8744万円
- 商工観光費 4690万円
- 議会費 7237万円



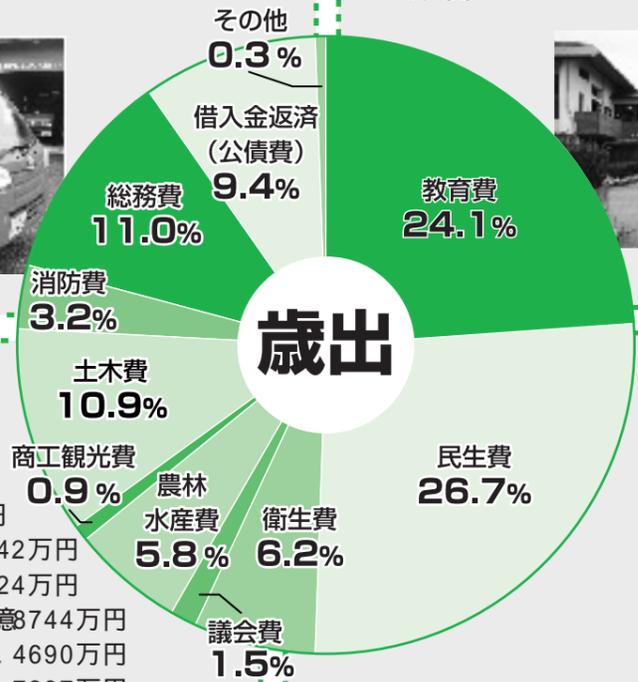
絵馬通り

福祉・健康づくり

- 児童福祉 6億3723万円
(認定こども園整備など)
- 社会福祉 6億7969万円
- 健康づくり 9734万円



たきのみや保育園
認定こども園へ



特別会計・企業会計の予算が可決されました。

区分	予算額	前年対比(%)	おもな事業
国民健康保険	9億8142万円	4.3(増)	医療費給付、特定健診
介護保険事業	8億734万円	3.7(増)	介護給付、介護予防、日常生活支援事業
後期高齢者医療事業	9725万円	0.6(減)	保険給付費
育英事業	363万円	6.5(減)	奨学資金の給付
工業団地緑地維持管理	524万円	2.7(増)	草刈りなどの維持管理

借入金(地方債の新規発行)

4億9280万円

- 認定こども園整備 1億460万円
- 臨時財政対策債 2億2800万円
- 道路改良(3路線) 3150万円
- 橋梁長寿命化 3440万円
- 町道改良 3110万円
- 絵馬通り関連 4790万円
- 消防ポンプ 940万円
- 芹川ダム負担金 590万円

町税

18億363万円

- 住民税(個人) 3億2040万円
- (法人) 2億9802万円
- 固定資産税 11億1671万円
- 軽自動車税 2310万円
- たばこ税 4400万円
- 鉾産税 140万円



地方交付税

7億9000万円

市町村の均衡をはかるための交付金

国庫支出金

5億5799万円

国が使用目的を特定した交付金

歳入

36.5% 町税

16.0% 地方交付税

11.3% 国庫支出金

10.0% 地方譲与税

5.4% 県支出金

3.3% 県税交付金

3.2% 借入金(町債)

0.8% 地方交付税

0.1% その他

自主財源 53.1%

依存財源 46.9%

分担金及び負担金 1.4%

使用料及び手数料 0.4%

繰入金 9.5%

諸収入 4.2%

その他 1.1%

県税交付金

1億6090万円

地方消費税・自動車取得税等

県支出金

2億6818万円

県が使用目的を特定した交付金

その他 自主財源

- 繰入金 4億6610万円
- 分担金・負担金 7113万円
- 使用料・手数料 1736万円
- 財産収入 410万円
- 寄付金 929万円
- 繰越金 4000万円
- 諸収入 2億753万円

区分	予算額	前年対比(%)	おもな事業
下水道事業	4億8783万円	2.1(増)	マンホールポンプ場長寿命化工事
農業集落排水事業	5392万円	1.3(減)	処理場の維持管理委託
多賀財産区	23万円	28.4(増)	議会費、財産管理
大滝財産区	126万円	—	議会費、財産管理
霊仙財産区	17万円	—	議会費、財産管理
上水道事業	6億146万円	6.5(減)	配水管布設替工事

教育・生涯学習

(学校教育費、社会教育費、
民生費)

反対討論があつたが、賛成多数で可決するものとした

問 中央公民館建設事業の今後の予定は
答 実施設計が完了。29年秋に入札、31年3月完成を目指す。旧公民館は、竣工後解体する。解体設計費を計上した。



町民のつどいの場へ

おもな予算項目 (万円)	
中央公民館建設事業費	5億3457
小学校費	1億2596
中学校費	8238
幼稚園費	6170
保育園費	4億4659
放課後児童クラブ人件費	1312
特別支援教育支援費	1366
あけぼのパーク管理費	8603
各体育施設費	6396
胡宮神社、石仏谷(周辺支援)遺跡発掘調査など	7675

問 認定子ども園「大滝たきのみや子ども園」の進捗は
答 実施設計の素案に時間を要した。設計は3カ月程度かかる。子育て支援センターの位置も変更。

防災・行政事務

(消防費・行政事務費)



問 空き家対策「おためし住宅」入居の目的は
答 町内企業(2社)にニーズ調査を行ない、入居者を募集している。今後も続けて行く。

おもな予算項目 (万円)	
広域消防委託金	1億786
消防団費	1951
小型動力ポンプ車購入費	940
災害対策費	713
まちづくり活動支援交付金	1935
コミュニティバス委託料	3650
愛のりタクシー負担金	1674
6町クラウドほか利用料	5414
ふるさと納税返礼品	560
広報費(広報誌、有線、HP)	888
地域おこし協力隊費	198



広域で地域を守る

問 広域消防委託金の増額は
答 職員の増員と、消防経費負担率の見直しによるもの。
問 地域防災計画委託料の内容は
答 法改正により、県の防災計画と整合を図るため、本年中に見直す。
問 防災備品の購入費はブルーシート、3.6m x 5.4mを500枚購入する。

健康づくり・福祉

(民生費・衛生費)

問 「高齢者福祉大会」を社会福祉協議会に委託した経緯は
答 老人クラブは、社会福祉協議会が支援するのが本来であり、委託した。
高齢者福祉大会には、福祉保健課も協力する。

問 児童手当の内容は
答 児童数は、903人。国、県から1億616万円交付。

おもな予算項目 (万円)	
社会福祉協議会補助金	3246
臨時福祉給付金	1875
国保会計繰出金	6197
介護保険繰出金	1億2995
後期高齢者医療費	1億2720
児童手当	1億2498
老人福祉費	3197
障害福祉費	1266
障害者自立支援費	1億4490
各種健診、予防委託料	4128
福祉保健センター費	1643
し尿処理費	3376
ごみ処理費	1億724

問 「ふれあいの郷」のお風呂あとの活用は
答 会議室として活用したい。
耐震性に課題がある。

問 長寿祝い金の内容は
答 90歳で1万円、95歳で3万円、100歳で10万円。
11人分、17人分、5人分



まちづくり

(商工費 農林水産費 土木費)



問 29年度の主な土木橋梁工事は
答 道路は、絵馬通り・月之木GH線・栗田高宮線。
舗装工事は、敏満寺高宮線。
橋梁工事は、多賀「不動橋」土田「1007号橋」。

おもな予算項目 (万円)	
商工観光費	4690
絵馬通り活性化	5500
環境保全型農業補助金	1498
まるごと保全補助金	1334
青年就農給付金	150
獣害対策費	3131
緑のふるさと協力隊	140
森林環境学習委託料	999
橋梁長寿命化工事費	7200
地籍調査費	666
下水道会計繰出金	1億1814
農業集落排水事業繰出金	4708
森林再生費	3000



問 林業技能者育成補助金は
答 大滝山林組合に委託する。
林業を志す人(通称山師)を育てる。
国から半額補助される。

問 農業委員会組織の変更で、委員を公募されているが、現状は
答 公募者数は農業委員5人。推進委員1人。その他、問合せがある。



条例が制定されました

制定
多賀町犯罪被害者等支援条例
多賀町立認定こども園の設置等に関する条例

条例が廃止・改正されました

廃止
芦谷栗栖地域振興基金条例

改正
職員の給与に関する条例
職員の勤務時間、休日および休暇に関する条例
職員の育児休業等に関する条例
職員の自己啓発等休業に関する条例
個人情報保護条例
税条例
道路占用料徴収条例

指定地域密着型サービス事業の人員、設備および運営に関する基準等を定める条例
指定地域密着型介護予防サービスに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防の効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

請負契約を締結しました

町道多賀絵馬通り線第3工区道路改良工事
延長 75m
金額 645.9万円
工期 10月31日まで
請負者 (株)雅コーポレーション
多賀営業所



施設の管理者に指定されました

「もんぜん亭」
管理者 シルバー人材センター
指定管理(もんぜん亭)



選挙管理委員会委員が選出されました

選挙管理委員会補充員が選出されました
矢守 嘉嗣氏 (敏満寺)
靈正 芳信氏 (大君ヶ畑)
多賀 節子氏 (木曾)
西村 政信氏 (大杉)

多賀公園および四手公園
管理者 シルバー人材センター
請願1件を採択しました
「多賀芝公園」に便所の設置を



補正予算を可決

おもな予算項目	金額(万円)
消防団員退職報償金	134
除雪委託料ほか	3733
あけぼのパーク多賀(シャッター修理)	190
財政調整基金積立金	1億円
後期高齢者健診委託料	47
空き家バンク制度促進奨励金	150
小中学校緊急地震速報設備工事費	124
造林補助金	442

問 今年の大雪の影響は
答 融雪剤15tを追加し、その他、除雪機の修繕を含め672万円。除雪委託料に3000万円を追加し、道路補修に50万円を予定。



問 後期高齢者の健診状況は
答 25年度は145人、26年度は148人、27年度は90人、28年度は63人と年々減少している。



町長の施政方針

みんなの力でキラリとひかるまちを

地方創生事業として、大滝地域活性化アクションプランに基づき、地域と連携し、大滝の活性化に向けた取り組みとして、川相で改修した空き家を、**おためし住宅**として入居募集し、定住を促進。



また、地域おこし協力隊1人を大杉に、緑のふるさと協力隊1人を霜ヶ原に配置し、地域活動を支援。
まちづくり活動支援交付金は、集落自らが地域づくりを積極的に行うためのもので、地域の活性化に繋がるよう期待する。

子どもや若い世代が未来に希望を持てるまちに

中学校卒業までの医療費の無料化、多世代同居の促進、小中学校入学時に指定バック・中学生の通学ヘルメットの支給など制度の充実。
学校教育では、中学校に教育支援員を1人増員、両小学校パソコンの更新、外国語指導は、幼・保・小学校全学年に。
施設整備では、30年4月「認定こども園」開園に向け、本定例会に条例制定の提案をする。

安心して暮らせるまちづくりを

福祉の充実では、高齢化の進行に伴い、家庭で自立した生活が維持できるよう支援体制を充実。

障害者自立支援では、障害がある児童の放課後児童クラブの継続。

環境や歴史・文化・風土を大切にしまちづくり
鳥獣害防止対策では、ニホンザルの個体数調整を図るため2人の臨時職員を雇用。
林業関係では、町産木材利用住宅への補助。
商工観光では、住宅リフォーム、がんばる商店応援補助金事業の継続。
道路事業では、絵馬通り線、スマートICの整備は、「多賀トライアングル構想」の位置づけとして事業展開を図る。

安心して暮らせるまちづくりを

福祉の充実では、高齢化の進行に伴い、家庭で自立した生活が維持できるよう支援体制を充実。

行政報告

総務所管
川相消防センターは、7月末、完成予定。

企画課所管
空き家住宅除却は、3物件を支援。

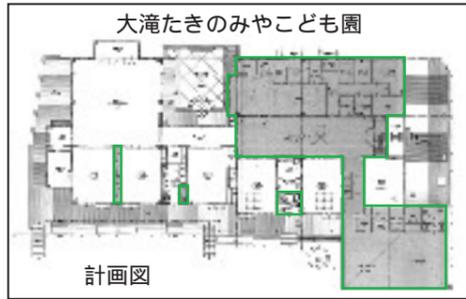
産業環境課所管
第28回農業・農山村を考えるつどいを開催。

地域整備課所管
絵馬通り線の第2工区改良工事は完了。

教育委員会
「大滝里づくりプロジェクト」の取組みを進め、11月から大滝小低学年を対象に、放課後の「学びつこタイム」を実施。

生涯学習課所管
1月8日に「29年新成人のつどい」を開催。新成人90人のうち、75人の参加があった。

認定こども園 設置の 条例を審査



条例3件、 予算5件を審査

認定こども園設置条例を審査しました

問 名称、定員は ども園。

答 「大滝たきのみやこども園」は、60人。 定員は、60人。 短時部と長時部がある。 こども園への改修工事の内容は

問 子育て支援センターの増築。 調理室、図書コーナー、 トイレを改修する。

答 犯罪被害者等支援条例を審査しました

問 支援の対象者は 犯罪によって傷害を受けた町民で、医師の診断で1カ月以上の加療を要する場合。

答 見舞金の額は 傷害を受けた本人に 10万円。死亡した遺族 に対し30万円支給。

問 税法の一部改正 法人税率の引下げが 税収に与える影響は

答 減収が予想される。 国は交付税で、県は 交付金の創設で対応を 予定している。

問 28年度の補正予算 (特別会計)

答 国民健康保険 175万円増 内訳は 医療費の不足分。

問 新年度予算を審査 (特別会計)

答 国民健康保険 9億8142万円 特定健診の受診率向 上に向けた取組みは

答 集落内でも啓発用の ぼり旗を掲げていただ く。未受診者へは、電 話等で受診勧奨をする。 育英事業 363万円

問 奨学資金の内訳は 高校生18人、大学・ 専門学校生12人分。

問 介護保険事業 8億734万円 前年比2910万円増

答 増加の原因は 地域密着型サービス への給付が増えた。

問 介護予防住宅改修の 補助対象は

答 段差の解消、手すり、 すべらない床材など。



問 後期高齢者医療事業 9725万円

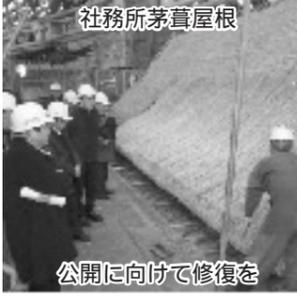
答 保険料算定方法が変更 (29年4月から) 変更の内容は

問 所得割額が5割軽減 から2割軽減へ負担増 町内では何人か 151人である。

生涯学習施設の事業を 調査しました

問 胡宮神社社務所庭園 保存整備事業

答 29年度に社務所内部、 屋根工事を完了予定。 30年度に一般公開。



問 改修に要する費用は 29年度は4330万 円である。

問 歴史民俗資料館 (現在 休館中) 休館の理由は 天井の一部にアスベ ストが使用されている。 和室の床が湿気によ り腐食しているため。

あけぼのパーク多賀 増え続ける経費

問 年間の維持管理費は 2000万円から2 300万円である。

問 節約の取組みは 館内の照明をLED 化する。 省エネの取組みを今 後さらに検討する。

問 国保財政について 調査しました

答 広域化への動き 県が財政運営を担う。 市町間の保険料を統一。 (30年4月から) 一般会計からの繰入 れが多額だが

問 35年を目途に解消し ていく。 保険料は上がるのか 県の試算では増額。 35年までは緩和措置 が講じられる。

安全・安心の まちづくりを

産業建設常任委員会 3/15



農業集落排水事業会計

歳入・歳出 5392万円 の予算審査

問 使用料収入が年々減 っている対策は

答 増収は見込めない。 県と協議し対策を考 える。

特別会計、29年度 予算3件を審査し、 可決するものとした

下水道事業特別会計

歳入・歳出 4億8783万円 の予算審査

問 マンホールポンプ場 の長寿命化工事とは

答 15カ所のマンホール ポンプ場を年に、2、 3カ所着手したい。

水道事業会計

収益的予算3億58 49万円・資本的予算 2億4297万円 の予算審査

問 給水戸数は、増加し ているのか

答 団地など増加してい るが、廃柱などもあり、 伸びていない。

問 固定資産購入費は、 どこか

答 新水源、土田地先の 農地3000平方メー ト ルを購入。

問 道路復旧工事は 6カ所を予定。



問 補正予算2件を審査し、 可決するものとした

答 芹谷栗栖振興事業会計 382万円追加し、 総額3446万円に

問 予算残を県に返金す るが、残工事があるの では

答 地域主体の事業であ り、主な事業は、家屋 支援・集会場整備で、 工事は完成しているの で精算残を返却する。

問 緑越明許費(緑越事 業)マンホールポンプ 改良工事はどこか。 また完成は

答 820万円を減額し、 総額4億7070万 円に

閉会中の調査 2/14

問 獣害対策(囲いあり) 「まる三重ホカクン」の 現地調査と捕獲実績につ いて

答 捕獲委託料の予算は シカ1100頭分を 予定している。

問 光とアート事業「ライ トアップ」の経過報告 来客数は

答 期間中、約2万8千 人、スペシャルデー、 3日間で約9千人。 多賀大社のイベント は盛況であった。

要望 大きな金額が使わ れているので、今後も 継続して欲しい。



遠隔監視できる捕獲おり

問 大きな金額が使わ れているので、今後も 継続して欲しい。

答 大きな金額が使わ れているので、今後も 継続して欲しい。

答 大きな金額が使わ れているので、今後も 継続して欲しい。

答 大きな金額が使わ れているので、今後も 継続して欲しい。

答 大きな金額が使わ れているので、今後も 継続して欲しい。

議会改革特別委員会

議員定数・報酬について議論

1/17

宇治田原町議会へ視察

2/21

広報常任委員会

滋賀県町村議会
28年度広報研修会に参加した

2/13

《議員定数は》
現状維持

- 年代・地域別の課題を
集約するには現状定数
が必要。
- 若者や少数の意見・地
域ごとの意見も必要。
- 全国平均は11・2人現
状定数が必要。
- 少数意見が町民の総意
となる可能性がある。
- 県下の状況と合わせて
も12人が適当定数であ
る。

《議員報酬は》
現状維持

- 定数のまま報酬を上げ
るのは難しい。
- 現状維持でよい。議員
報酬は生活給といえな
い。

増額

- 定数を減らして報酬を
上げるべきだ。
- 定数は現状維持が望ま
しい。やるべき義務を
増やし報酬を上げる。
- 全国と比較して本町は
報酬が少ない。
- 議会基本条例を制定し、
報酬を議論する。
- 2年間で定数・報酬の
議論をすすめ、結論を
出す。

削減

- 4年前の無投票の状況
では定数減・報酬カツ
トも必要との声が多か
った。
- 人口減少も鑑み定数削
減も必要では。

- ◆議会活性化特別委員会
設置（平成23年3月）
- ◆議会基本条例制定
（平成24年9月）
- 傍聴規則改正により議
会傍聴者は平均20人。
- 議会報告会は年2回開
催。
- 議員定数平成12年18人、
4年ごとに2人づつ
削減し現在12人。
これ以上の削減は議
会が機能しない。
- 議員報酬は次世代のた
め13年ぶりに、20万円
を24万円に改正。
- 報酬額は京都府下11町
で4位。
- 全ての会議を公開、議
会の見える化を進めて
いる。
- 一般質問は一問一答方
式・一括質問方式の両
方を採用し、時間制限
はないが回数制限をし
ている。



宇治田原町議会

より良い議会に向けて



伝わる広報誌へ

午後から各町の広報誌のクリニックを受けた。本町は、第151号について指導を受けたが、その評価は、総合的に解りやすく、コンパクトに仕上げられており読む気になる工夫と評価された。また指導を受けたのは表紙の色彩デザイン、タイトル、写真のカット、彩度等の専門的な要素と各ページに付箋配置など細かく指導された。今後は、指導いただいた事項を改善し、より良い広報誌になるよう努力したい。



低炭素化社会 をめざして

臨時議会

1/11

2/6

第1回 1/11

補正予算を
審議・可決した

28年度一般会計

- 認定こども園化施設の
増築工事測量設計費
560万円増
（財源は前年度繰越金を
充てる）

第2回 2/6

補正予算・請負
契約の変更を審
議・可決した

28年度一般会計

- あけぼのパーク多賀の
太陽光発電と蓄電池・
LED化導入推進事業
1億5482万円増
（財源は国の第二次補正
予算）

請負契約の変更

- 町道多賀絵馬通り線第
2工区道路改良工事
656万円増
請負金額
9513万円
請負者
（有）豊和建設多賀営業所



認定こども園化へ



あけぼのパーク多賀(照明LED化)



絵馬通り第2工区

表紙写真募集!!

『議会広報たが』の表紙写真を募集いたします。

【募集内容・要件】

- 町内で撮影されたもの
- 未発表のオリジナル作品
- 被写体の肖像権・財産権・使用権の承諾が得られているもの
- 縦位置で撮影されたデジタル画像

【募集方法】

- データの持ち込みまたはメールでご応募がございます。
- メール本文には、氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を記載ください。
- 広報常任委員会で選考し、ご応募いただきましたお写真の返却はいたしませんので予めご了承ください。
- 詳細はHPにも案内しております。



気軽に懇談 しませんか？

私たちは、議会活動の充実を図るため、各集落や各団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受付をしています。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。お気軽にご連絡ください。

議会事務局
☎ 48-8126
(有線) 2-2011



町政を問う

10人が一般質問

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をともに、町長や教育長などの方針を問うものです。

質問事項	ページ
富永 勉……………13 33年ぶりの大雪！除雪体制は町道小森池線に信号設置を	13
山口久男……………13 子どもの貧困対策の実態と対応は大滝幼稚園は閉園ではなく存続を本町公共交通の充実見直しは	13
菅森照雄……………14 杉の子クラブの充実を芹谷地域ダム事業は	14
松居 亘……………14 高齢者ドライバー対策は小規模多機能型居宅介護施設は	14
川添武史……………15 多賀「芝公園」にトイレの設置は新年度予算の歳入・歳出は	15
木下茂樹……………15 巣立った若者に「ふるさと納税」の誘導を1人当りの教育費を公表すべきでは○ふるさと納税の構成と返礼の評価は	15
竹内 薫……………16 町内道路の融雪化計画は降雪時の防火設備は	16
尾谷忠之……………16 総合戦略と再生計画の29年度取組は小規模企業振興基本法の取組は	16
川岸真喜……………17 博物館、文化財の今後は	17
北川久二……………17 通学路の安全確保は給食の安全管理は	17

(○印は、掲載していません。)

質問1

33年ぶりの大雪！除雪体制は

—町長—

除雪体制を強化する



富永 勉

問 33年ぶりの大雪
除雪後の残雪に対する除雪体制は。道路幅が狭く危険箇所があるが、本町の今回の大雪による被害状況は。

答 町道は職員直営2班、工業会27班、3集落除雪の32班体制で除雪。県道は降雪10cm以上で路線ごとに県委託各業者が出動。本町では積雪時に巡回し道路幅員確保や残雪除雪の指示をしたが33年ぶりの大雪で対応が困難を極めた。
住宅被害2件、農業用施設1件、その他倒木・道路設備の損傷、小規模な崩落を数件確認。



雪による倒木

町長 信号の設置基準交通量に満たないため、非常に厳しい。環状交差点方式の採用も踏まえ安全確保に係る機関と連携し協議していく。現在、町ではここも含め3カ所信号設置を要望している。優先順位をつけるのではなく、3カ所とも設置を強く要望していく。



安全な道路へ(梨ノ木地先)

質問2

町道小森池線に信号設置を

問 梨ノ木地先の交差点はトラックの往来も多く306号線が復旧すれば危険度が増す。設置に向けて優先的に対応を。

町長

答 信号の設置基準交通量に満たないため、非常に厳しい。環状交差点方式の採用も踏まえ安全確保に係る機関と連携し協議していく。現在、町ではここも含め3カ所信号設置を要望している。優先順位をつけるのではなく、3カ所とも設置を強く要望していく。

質問1

子どもの貧困対策の実態と対応は

—教育次長—

調査・情報収集・支援対策を実施



山口 久男

問 町の子どもの貧困の実態調査・分析・支援は。

答 就学援助を受けている子どもの実態と支給額は、就学補助額・準要保護世帯の基準引上げは、入学準備費用の支給時期・要件・基準の見直し周知徹底は、ひとり親家庭の児童の学習支援や食事提供は、
教育次長 **答** 本町に調査資料はないが県の資料を用い現状調査・情報収集・支援対策を行っている。
小・中学生それぞれ35人、小学生209万円、中学生350万円。
国に準じて引上げ支給課題を十分検討する。今後、実施に努力する。

質問2

大滝幼稚園は閉園ではなく存続を

問 閉園による若者流出・少子高齢化・過疎化

企画課長 **答** 公共交通検討会議を立上げ、関係部署のメンバー6人で研究検討している。

質問3

本町公共交通の充実見直しは

答 統合で財源・人材を集中により、若者定住化や少子高齢化・過疎化の歯止めをしたい。評価するが園児減少により要領案で求められる内容の達成は困難。最善の方法を検討中。十分検討した。

教育総務課長

答 幼児教育の拠点・特色ある大滝幼稚園の役割評価は。
子ども園改修整備で園庭の縮小・駐車場問題・安全対策は、
保育時間の差は、保育士・園児に影響はないのか。

質問1

多賀「芝公園」にトイレの設置は

—町長—

国、県の補助金等を待って、やりたい

川添 武史



問 多賀芝公園に便所を設置する問題は、昨年も質問した。

本年1月17日に多賀柏葉クラブ会長、はじめ現在芝グラウンドでグラウンドゴルフを愛好されている8団体から高齢者の健康にも左右される。失禁問題で嘆願書が町長に出された。新年度予算に計上されなかった経緯と今後の対応は。

町長 設置には多額の経費が必要で、町単独費だけでは困難であり、嘆願書受領後、国、県の助成制度をあたったが現在はない。

今後は、国、県の助成制度があれば、すぐに対応できるよう計画は立ておく必要がある。いつの時点で制度に乗れるよう、行政として考え方を持っていたい。

質問1

杉の子クラブの充実を

—福祉保健課長—

実態を把握し改善に取り組む

菅森 照雄



問 障害児放課後児童クラブの運営について

ステップアップ21の支援事業は廃止か。廃止後の対応は。養護学校の下校時間が早い時の対応は。杉の子クラブの開設日数の増加を。

福祉保健課長 運営元が昨年8月より受入を中止された。近隣の同様の事業所をご利用願いたい。実態を把握し対応する。現状では実施は難しいが改善に取り組む。

答 ステップアップ21支援事業とは、社会福祉法人とよさとが運営していた日中一時支援事業の名称。



通学バス(甲良養護学校)



下水谷公民館

現在の上水谷地区

質問2 芹谷地域ダム事業は

問 芹谷振興事務所の今後は。

町長 県の現芹谷地域振興事務所の存続は困難。来年度、湖東土木事務所内に新たな組織体制を構築する予定と聞く。

質問2 新年度予算の歳入・歳出は



元気な町民が集う場

問 歳入予算、国の交付税の内、地域振興費は土地の15%しか算入されていない。全国山間地の自治体が「森林環境税促進連盟」を立ち上げ、増額要望の現況は。

歳出予算49億3500万円の内、中央公民館建設費は、約1割、5億円余りが計上されている。住民に対して丁寧な説明が必要と思う。

副町長

答 要望活動は継続している。政府税政調査会も30年頃から対応を検討するようである。中央公民館も施設設計が出来た。今後、町民の皆さんに周知していく。

質問1

巣立った若者に『ふるさと納税』の誘導を

—総務課長—

教育費に限定した案内は可能

木下 茂樹



問 本町で義務教育を終え、都会で就職し在住すると、本町は教育費を負担し、納税を得ないアンバランスが生じる。後に続く後輩のため、次世代への還元策として本町から巣立った方々に『ふるさと納税』をしていただく案内をし、「教育費」に限定した募集はできないか。

総務課長 本来のふるさと納税は、就職、進学により地方から都会へ出た方が、生まれ育ったふるさとへ恩返ししたいという思いから、納税でふるさとに貢献するため、導入された制度である。本町から転出された方々に、使途を教育費に限定した『ふるさと納税』を案内する事は可能である。

案内をする手段について今後研究する。

質問1

高齢者ドライバー対策は

—総務課長—

免許証自主返納を推進する

松居 亘



問 県・県警の指導は。本町の支援対策は。認知機能検査の内容と強化策は。彦根犬上交通安全対策協議会の取組は。本町の免許証自主返納の取組は。

総務課長 啓発・注意喚起・相談電話・自主返納高齢者支援制度の活用。自主返納高齢者に公共交通機関の回数券配布。記憶・判断を測定する3種の検査に加え認知適性検査や診断書の結果で取消になる。現在実施していないが協議し取組む。啓発・相談・出前講座を含め自主返納を推進。



地域の交流拠点へ期待

質問2

小規模多機能型居宅介護施設は

問 開所時期と入所者募集は。職員の確保は。施設総工費と県・町の補助金額は。運営に対する県・町の補助は。

福祉保健課長 4月3日開所。入所募集する施設でない。夜勤帯職員のみ募集中。総工費は法人主体の為公表を控え、県より3759万を受け、交付する。運営補助金はない。一部を除き町が管理。行事や介護予防・趣味・ボランティア活動等運営推進会議で検討する。

質問2

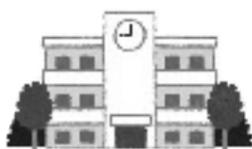
1人当りの教育費を公表すべきでは

問 1人当たり教育費は。教育費を公表すべきでは。

教育次長 保育園・幼稚園・小中学校の教育費の10年間を平均すると、1人当たり約71万円/年。「広報たが」4月号に予算額を、10月号に決算額を公表している。

教育長

答 1人当たり教育費も、住民にお知らせすべきであり、住民も知るべきと思う。





改修が待たれる資料館



大岡高塚古墳

質問1

博物館、文化財の今後は

—生涯学習課長—

利用計画を検討

川岸 真喜



問 あげぼのパーク多賀には、図書館、博物館、文化財センターがある。博物館は、子どもの興味を強くひきつけ、家族連れが休日を通りかかるとに魚の飼育や恐竜関係の展示などを検討しては。文化財センターは、一般に開館していない。遺跡の出土品などの常設展示をしては。

答 多くの子どもにも来館してもらつたためにも、ホールでの展示など、子どもに興味をひく内容を検討する。遺跡の発掘調査は情報発信できていない。展示会場としての活用は温度や湿度管理から難しい。

問 大岡高塚古墳の整備は

答 小中学校の授業での活用のためにも整備は必要である。現状では奇抜な色のシートで覆われており、景観を損ねている。案内看板を見やすい位置へ移動し、3月には専門家によるレーザー測量を実施した。地元と協議し、他の文化財整備ともあわせ、計画を検討する。

問 歴史民族資料館の改修を

答 玄関の天井にアスベストを含んだボードが張られているので、現在は休館中である。撤去費用は200〜300万円と試算している。石仏谷保存、胡宮神社社務所庭園整備、多賀スマートインター整備計画などに関連する歴史文化基本構想のなかで、再生利用計画を検討する。

質問1

通学路の安全確保は

—地域整備課長—

順次安全性の向上を図っている

北川 久二



問 全国で登下校中の交通事故が相次ぎ、3省庁が連携し、緊急合同点検等実施要領を作成した。本町は、これを受けて通学路の安全確保に向けた点検を実施し、通学路安全推進会議を立ち上げ、交通安全プログラムを策定した。

答 要対策箇所24箇所の内、対策済みは何箇所か。県や警察との連携は。対策実施後の安全性向上の検証は。対策に必要な財源は。未対策箇所の実施と完了の時期は。

問 1月に和歌山でノロウイルスとみられる食中毒が発生し、彦根市では調理員が感染し、給食を中止した。本町での衛生管理や緊急中止時の対応方法は。

答 毎日健康状態の点検を行い、年1回の健康診断を実施。発生しやすい冬場に重点検査を行い、以外に年4回の従事者抗原検査も実施している。給食中止の場合、27年度に策定した、対応マニュアルにより、給食にかかわる食事の手配を行うこととしている。



対策後の通学路

質問1

町内道路の融雪化計画は

—地域整備課長—

水源確保と多額の整備費の確保が必要!

竹内 薫



積雪時には位置の特定が困難に

問 今年の降雪は、33年ぶりのドカ雪で、雪の置き場に大変苦労をした集落がほとんどであった。道幅の狭い集落では、緊急自動車の進入や通勤に影響が出た。また、近年は、降雪範囲が、湖東地域に集中している。除雪より融雪化の考えは。

答 今回の降雪で、消雪を行っている3路線は、大きな効果を発揮した。しかしながら、消雪には、大量の水量と多額の整備費がかかる。運行に支障をきたす場所にあつては水源確保ができれば考えたい。

問 各集落には消火栓があり、今回の雪では、雪の下に埋もれ緊急時に使用不可の状態であった。例えば、近くには消火栓ボックスがあり、ボックスの上の方向と距離を明示してはどうか。

答 防火設備の除雪については、地域防災計画において、地域住民の皆さんの協力により行うと定めており、自警団長会議などで周知し、適正管理に努めたい。

質問1

総合戦略と再生計画の29年度取組は

—企画課長・産業環境課長—

林・農・観で活性化を推進

尾谷 忠之



問 (1)29年度取組の予算確保と内容は。(2)総合戦略の進捗管理の創生推進会議の概要は。(3)6次産業化の拡大と定着は。

答 (1)県と連携する観光事業800万円。林業振興5800万円・大滝活性化事業400万円の総額6200万円取組む。(2)各関係者13人の委員で構成。6月頃に目標、実績を評価報告する。

問 施策の策定・実施の責務に対する考えは。

答 26年6月27日に施行された法律に基づき、施策の策定、実施の責務を達成すべく条例の制定も含め、地域の活性化を目指す。6月議会に条例提案を予定。



ブランド化を目指して

町政を問う

町政を問う

まち・ひと・しごと!!

第1回

元気に活動 しています

入谷「故郷の日」

宮下 重和さん

Q 入谷はどんな集落?

A 河内の風穴の上流に1キロほど入ると車庫群があります。

坂道が上がると、石積みで作られた屋敷跡18軒と、谷神社と了眼寺があります。

Q 集落の歴史は?

A 平家の落人という説や、高取城(入谷男鬼城)の子孫という説もあります。

谷神社は、1459年の創建で、弁財天が祭神です。

了眼寺の開基は1471年で、古い歴史を感じます。

また久徳とも縁があり、昔、久徳城主の奥方が霊仙山に向かったとき、入谷に寄り、水を飲ませてもらった、そのお礼に櫛と「こうがい」を預けたという伝説があります。

Q 「故郷の日」とは?

A 毎月第一日曜日の朝8時からお寺に集まり、お勤めをし、その後茶話会。気の知れた人ばかりなので話が尽きません。

住職の秦了震さんが、88歳にもかかわらず、彦根から自転車で毎回来ていただきます。

みんなで「故郷の日」を続けています。

28年11月6日で184回を迎えました。多い時には30人近くも集まりました。他町からも噂を聞いてお参り頂いたこともあります。

Q むらづくり活動は?

A 27年度は、シカの害で露出した斜面に、スイセンとシヤクヤクの植栽。作業後にはお疲れさへん。

28年度は、桜の木の植栽と、防獣ネットを施工しました。

29年度から、3カ年計画で、450ヘクタールの「森林境界明確化」の大事業に取り組めます。

いろいろな事業を通じて、まとまりがよくなつたように感じます。



集落風景



了眼寺



故郷の日

入谷のみなさん



むらづくり活動

議会を傍聴してみませんか? 6月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
6月7日	7日(水) 9:30~ 議案審議
6月23日 (17日間)	8日(木) 9:30~ 一般質問
	23日(金) 13:30~ 議案審議

日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126 (有線) 2-2011

まち・ひと・しごと!!

あなたのまわりの
自慢をお聞かせください。

【応募資格】多賀町に在住・
在勤の方

【応募方法】200字程度

【募集期間】平成29年
7月7日(金)

原稿募集!!

議会事務局までご連絡ください。

山頂で撮影(高室山)



編集後記

33年ぶりの大雪に見舞われましたが、約束通り穏やかな春が訪れ、初夏の香りが漂う季節となりました。

杉坂峠から見下ろす水鏡一面の田園風景が本当にきれいです。

次世代に繋げなければならぬ絶景です。町民の皆様との懸け橋になるよう、今後も議会広報誌の作成に取り組みます。皆様のご意見をお待ちしております。

尾谷 忠之 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎0749(48)8126 FAX0749(48)8131
有線 2-2011

ホームページ <http://www.town.taga.lg.jp/>
E-mail gikai@town.taga.lg.jp